全ファイルにメモリープロテクトをかける

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “再生機能”タブ→“プロテクト”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“全ファイル　オン”を選び、【SET】を押します。
- メモリープロテクトを解除するときは、“全ファイル　オフ”を選んでください。

4. 【MENU】を押して、メモリープロテクトを終了します。

お気に入りフォルダを使う

記録した思い出の風景や家族の写真など好きな静止画を「記録フォルダ」（166ページ）から内蔵メモリーの「お気に入りフォルダ（“FAVORITE”フォルダ）」（166ページ）にコピーすることができます。通常の再生では表示されないので、プライベートな画像を持ち歩くのに便利です。メモリーカードを入れ替えても画像は消えませんので、いつでも見ることができます。

お気に入りフォルダにファイルをコピー（登録）する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、【▶】を押します。



3. 【▲】【▼】で“登録”を選び、【SET】を押します。
- 内蔵メモリーまたはメモリーカード内のファイル名が表示されます。



4. 【◀】【▶】でお気に入りフォルダに登録したいファイルを選びます。

5. 【▲】【▼】で“登録”を選び、【SET】を押します。
- 内蔵メモリー内のお気に入りフォルダにファイルを登録します。

6. 設定を終えるには【▲】【▼】で“キャンセル”を選び、【SET】を押します。

参考
- 画像は、320×240pixelsのQVGAサイズにリサイズしてコピーされます。
- 登録したファイルには、連番（0001～9999）がファイル名として自動的に付けられます。ただし、登録できるファイル数は画質等により異なり、内蔵メモリーの空き容量の範囲内となります。

重要!
- お気に入りフォルダにリサイズしてコピーされたファイルは、元の画像サイズに戻すことはできません。
- お気に入りフォルダに登録されているファイルは、メモリーカードにコピーすることはできません。

お気に入りフォルダのファイルを表示する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“表示”を選び、【SET】を押します。
- お気に入りフォルダにファイルが登録されていないときは、“お気に入りのファイルがありません”と表示されます。

4. 【◀】【▶】でお気に入りフォルダに登録したファイルを見ていきます。
【▶】を押す：進みます。
【◀】を押す：戻ります。

ファイル名



5. 表示を終えるには、【MENU】を2回押します。

参考
- 【◀】【▶】を押し続けると、画像は早く送られます。

重要!
- お気に入りフォルダ（“FAVORITEフォルダ”）は内蔵メモリーにのみ作成されるため、パソコン上でお気に入りフォルダのファイルを表示するときは、カメラからメモリーカードを取り出した状態で、USB通信を行ってください（154、160ページ）。

お気に入りフォルダから1ファイルずつ消去する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“表示”を選び、【SET】を押します。

4. 【EX 🗑】を押します。

5. 【◀】【▶】でお気に入りフォルダから消去したいファイルを選びます。

6. 【▲】【▼】で“消去”を選び、【SET】を押します。
- 消去を中止したいときは“キャンセル”を選んでください。

7. 消去を終えるには【▲】【▼】で“キャンセル”を選び、【SET】を押します。

重要!
- お気に入りフォルダのファイルは、125ページの消去操作により消去することはできません。ただし、フォーマット操作（140ページ）を行うと、消去されてしまいます。

お気に入りフォルダの全ファイルを消去する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“表示”を選び、【SET】を押します。

4. 【EX 🗑】を押します。

5. 【▲】【▼】で“全ファイル消去”を選び、【SET】を押します。

重要!
- お気に入りフォルダのファイルは、125ページの消去操作により消去することはできません。ただし、フォーマット操作（140ページ）を行うと、消去されてしまいます。

その他の設定について

カメラの音を設定する

4種類の音（起動音／ハーフシャッター音／シャッター音／操作音）とその音量を設定することができます。

シャッター音などの操作音を設定する

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “設定”タブ→“操作音”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定したい音を選び、【▶】を押します。



4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
サウンド1～5　：内蔵されたサンプル音が鳴ります。
切　　　　　　：音は鳴りません。

参考
- 初期設定は、すべて“サウンド1”となります。

音量を設定する

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “設定”タブ→“操作音”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“音量”を選びます。

4. 【◀】【▶】で再生したい音量を選び、【SET】を押します。
- 音量は「0」（小）～「7」（大）の8段階の間で設定できます。
- 音量を「0」に設定すると、音は鳴りません。

参考
- 初期設定は、「3」となります。

起動画面のオン／オフを切り替える

RECモードで電源を入れたとき、カメラが記録している画像を起動画面として、【液晶モニター】に約2秒間表示するかどうかを切り替えることができます。

1. **RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。**

2. **"設定"タブ→"起動画面"と選び、【▶】を押します。**

3. **【◀】【▶】で設定したい起動画面を表示させます。**

4. **【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。**

入：設定時に表示していた画像を起動画面として表示します。

切：起動画面は表示しません。

参考
- 設定可能な画面は、下記の通りです。
  - すでに内蔵されている専用画像
  - 撮影した静止画
  - 撮影した音声付き静止画
- 起動画面に設定した撮影画像(静止画)は、起動画像メモリーに登録されます。このメモリーには、画像は一つしか登録できません。起動画面を別の撮影画像に変更すると、メモリー内の画像は上書きされてしまいますので、変更する前の撮影画像に戻すときは、変更する前の画像データが必要となります。
- 登録した起動画像は、フォーマット操作(140ページ)を行うと消去されます。
- 音声付き静止画を起動画面に設定したとき、音声は再生されません。

エンディング画面に表示する画像を設定する

カメラの電源が切れる前に、カメラに記録した画像をエンディング画面として表示する機能です。カメラで撮影した静止画や動画をエンディング画面として設定できます。

エンディング機能を設定する

1. **カメラをUSBケーブルでパソコンと接続します(154ページ)。**

2. **エンディング画面として使用する画像データを、内蔵メモリーのルートディレクトリ(第一階層)に入れます。**



Windowsの場合



Macintoshの場合

- ご使用のパソコン設定が「拡張子を表示しない。」になっていると拡張子は表示されません。例：CIMG0001
- メモリーカードをご使用の場合は、カメラからカードを抜いてからファイルをコピーしてください。

3. **画像データのファイル名を次のように変更します。**

静止画の場合：ENDING.JPG

動画の場合　：ENDING.AVI



Windowsの場合



Macintoshの場合

- ご使用のパソコン設定が「拡張子を表示しない。」になっている場合は、拡張子(.JPGや.AVI)を入れないでください。例：ENDING

以上で設定が完了しました。内蔵メモリーをお使いの場合でもメモリーカードをお使いの場合でも【電源ボタン】を押して電源が切れる前にエンディング画面が表示されます。

重要!
- 静止画(JPEG)、動画(AVI)のみ設定可能です。
- カメラで撮影した画像がエンディングの対象となります。他の画像が入っているとエンディング機能が動作しない場合があります。
- 内蔵メモリーをフォーマットすると、エンディング画面に設定されたファイルも消去されます(140ページ)。
- 静止画と動画の両方がエンディング画面として設定されている場合は、動画がエンディング画面として選択されます。
- エンディング画面を途中で止めることはできませんので、動画をエンディング画面に設定する場合は、時間の短いものをおすすめします。

エンディング画面に表示する画像の設定を解除する

1. **カメラをUSBケーブルでパソコンと接続します(154ページ)。**

2. **内蔵メモリーに入れたENDING.JPGまたはENDING.AVIのファイル名を変更するか、画像データを削除します。**

ファイルの連番のカウント方法を切り替える

撮影時にファイル(画像データ)に付く連番(127ページ)のカウント方法を切り替えることができます。

1. **RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。**

2. **"設定"タブ→"ファイルNo."と選び、【▶】を押します。**

3. **【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。**

メモリする　：今まで撮影したファイルの連番を記憶します。ファイルを消去したり、メモリーカードを交換しても、記憶した連番からファイル名を付けます。

メモリしない：ファイルの連番は記憶せずに、最大の連番＋1からファイル名を付けます。

アラームを鳴らす

指定した時刻にアラームを鳴らし、同時に指定した画像を表示できます。最大3つの時刻を設定できます。動画、音声付き静止画、ボイスレコードのファイルを指定した場合は、画像とともに音声も再生されます。

アラームを設定する

1. **PLAYモードにして【MENU】を押します。**

2. **"再生機能"タブ→"アラーム"と選び、【▶】を押します。**

3. **【▲】【▼】で設定したいアラームを選び、【▶】を押します。**

4. **【◀】【▶】で項目を選び、【▲】【▼】で設定内容を選びます。**
- 時刻、1回／毎日、オン／オフが設定できます。

5. **【DISP】を押します。**
- ここで【SET】を押してもアラームの設定を終えることができます。

6. **【◀】【▶】で表示したい画像を選び、【SET】を押します。**

7. **内容を確認して【SET】を押します。**
- アラームの優先順は設定1、設定2、設定3です。

アラームを止める

アラームは電源をオフにした状態で、設定した時刻になると約1分間鳴り続けます。その後、電源オフの状態に戻ります。途中で止めたい場合は、何かボタンを押してください。

重要!
- アラームは次の場合は鳴りません。
  - 電源がオンになっている
  - USB通信中

日時を設定し直す

日時を設定し直したいときは、ホームタイム(自宅の日時)を設定してから、日時の設定を行います。

重要!
- 日時の設定を行う前にホームタイムを自分の住んでいる地域に正しく設定しないと、ワールドタイム(138ページ)の日時が正しく表示されませんので、ご注意ください。

ホームタイムの都市を設定し直す

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. "設定"タブ→"ワールドタイム"と選び、【▶】を押します。
   - 現在設定されている内容が表示されます。
3. 【▲】【▼】で"自宅"を選び、【▶】を押します。
4. 【▲】【▼】で"都市"を選び、【▶】を押します。
5. 【▲】【▼】【◀】【▶】で自宅の地域を選び、【SET】を押します。
6. 【▲】【▼】で自宅の都市を選び、【SET】を押します。
   - 日本で使う場合は"Tokyo"を選んでください。
7. 【SET】を押して、設定を終了します。

ホームタイムの日時を設定し直す

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. "設定"タブ→"日時設定"と選び、【▶】を押します。
3. 日付と時刻を合わせます。
   【▲】【▼】：カーソル(選択枠)の部分の数字を変えます。
   【◀】【▶】：カーソル(選択枠)を移動します。
   【DISP】：12時間表示と24時間表示の切り替えができます。
4. 【SET】を押して、設定を終了します。

日付の表示スタイルを切り替える

画面に表示される日付の表示スタイルを3通りの中から選ぶことができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. "設定"タブ→"表示スタイル"と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
   例）2004年12月24日
   年／月／日：04/12/24
   日／月／年：24/12/04
   月／日／年：12/24/04

ワールドタイムを表示する

購入時に設定した自宅の日時とは別に、海外旅行などで訪問する都市の日時を1都市選んで表示することができます。世界162都市(32タイムゾーン)に対応しています。

ワールドタイムを表示させる

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. "設定"タブ→"ワールドタイム"と選び、【▶】を押します。
   - 現在設定されている内容が表示されます。
3. 【▲】【▼】で"訪問先"を選びます。
   自宅　：購入時に設定した自宅の日時を表示します。
   訪問先：訪問先として設定した都市の日時を表示します。
4. 【SET】を押して、設定を終了します。

ワールドタイムを設定する

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. "設定"タブ→"ワールドタイム"と選び、【▶】を押します。
   - 現在設定されている内容が表示されます。
3. 【▲】【▼】で"訪問先"を選び、【▶】を押します。
   - 自宅の都市について設定する場合は、"自宅"を選びます。
4. 【▲】【▼】で"都市"を選び、【▶】を押します。
5. 【▲】【▼】【◀】【▶】で訪問先の地域を選び、【SET】を押します。



6. 【▲】【▼】で訪問先の都市を選び、【SET】を押します。
   - 現在設定されている内容が表示されます。



7. 【SET】を押して、設定を終了します。

サマータイムを設定する

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. "設定"タブ→"ワールドタイム"と選び、【▶】を押します。
   - 現在設定されている内容が表示されます。
3. 【▲】【▼】で"訪問先"を選び、【▶】を押します。
   - 自宅の都市について設定する場合は、"自宅"を選びます。
4. 【▲】【▼】で"サマータイム"を選び、【▶】を押します。
5. 【▲】【▼】でサマータイムの設定を選びます。
   入：サマータイムになります。
   切：通常の時刻になります。
6. 【SET】を押します。
   - 現在設定されている内容が表示されます。
7. 【SET】を押して、設定を終了します。

表示言語を切り替える

画面のメッセージを10の言語の中から選ぶことができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. "設定"タブ→"Language"と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で設定内容を選び、【SET】を押します。

日本語	：日本語
English	：英語
Français	：フランス語
Deutsch	：ドイツ語
Español	：スペイン語
Italiano	：イタリア語
Português	：ポルトガル語
中國語	：中国語(繁体)
中国语	：中国語(簡体)
한국어	：韓国語

USB端子の通信方法を切り替える

パソコンやプリンターなどの外部機器と接続するときの、USB端子の通信方法を切り替えることができます。接続する機器にあわせて切り替えてください。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. "設定"タブ→"USB"と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で使用する機器にあわせて設定を選び、【SET】を押します。
   - Mass Storage（USB DIRECT - PRINT）：
     パソコンやUSB DIRECT - PRINT対応(149ページ)のプリンターを接続する場合、こちらを選びます。パソコンにカメラを外部記憶装置として認識させる方法です。通常、パソコンへの画像の保存の操作時(付属のソフト「Photo Loader」使用時)はこちらを選んでください。
   - PTP（PictBridge）：
     PictBridge対応(149ページ)のプリンターを接続する場合、こちらを選びます。画像データを外部接続機器に簡単に転送するための接続方法です。

内蔵メモリーをフォーマットする

内蔵メモリーをフォーマットすると、内蔵メモリーの内容がすべて消去されます。

重要!
- 内蔵メモリーをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。フォーマット操作を行う際は、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- ファイルデータにメモリープロテクト(128ページ)をかけていても、内蔵メモリーをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。
- お気に入りに登録した画像(129ページ)や、ベストショットモードでカスタム登録した内容(85ページ)も消去されますのでご注意ください。起動画面に設定した画像(133ページ)やエンディング画像(134ページ)も消去されます。

1. 本機にメモリーカードが入っていないことを確認します。
   - メモリーカードが入っている場合は、取り出してください(142ページ)。
2. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
3. "設定"タブ→"フォーマット"と選び、【▶】を押します。
4. 【▲】【▼】で"フォーマット"を選び、【SET】を押します。
   - フォーマットを実行しないときは、"キャンセル"を選んでください。

メモリーカードを使用する

本機は、市販のメモリーカード(SDメモリーカードまたはMMC〈マルチメディアカード〉)を使用することにより、記録用のメモリーを拡張することができます。また、内蔵フラッシュメモリーからメモリーカードに、またはメモリーカードから内蔵フラッシュメモリーにファイルをコピーすることもできます。

- ファイルが記録されるメモリーは、次のように自動的に切り替わります。

メモリーカードを入れていないときは	→	内蔵メモリーに記録されます。
メモリーカードを入れているときは	→	メモリーカードに記録されます。

- メモリーカードを入れた状態で内蔵メモリーを使用することはできません。

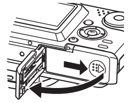
重要!
- メモリーカードは必ずSDメモリーカードまたはMMC(マルチメディアカード)を使用してください。他のメモリーカードをお使いの場合は動作保障できません。
  また、動作確認を行ったメモリーカードについては、カシオホームページ(http://www.casio.co.jp/)をご覧ください。
- メモリーカードを使う際はメモリーカードの取扱説明書もあわせてお読みください。
- カードの種類によって処理速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードには、書き込み禁止スイッチがあります。誤って消去する不安があるときは使用してください。ただし、撮影・フォーマット・消去時は解除しないと各操作が実行できません。
- 静電気、電気的ノイズ等により記録したデータが消失または破壊することがありますので、大切なデータは別のメディア(CD-R、CD-RW、MOディスク、ハードディスクなど)にバックアップして控えをとることをおすすめします。

メモリーカードを使う

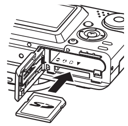
重要!
- メモリーカードの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。
- カードには、表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがあります。

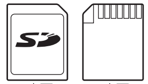
メモリーカードを入れる

1. **本体側面の【電池カバー】を押しながら、矢印の方向にスライドさせて開きます。**



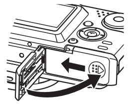
2. **メモリーカードの表面を上(【液晶モニター】側)にして、【メモリーカード挿入口】にしっかり押し込みます。**





表面　裏面

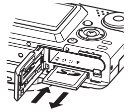
3. **【電池カバー】を図のように矢印の方向に押しつけながら、スライドして閉めます。**



メモリーカードを取り出す

1. **メモリーカードを押すと、メモリーカードが少し出てきます。**

2. **メモリーカードを引き抜きます。**



重要!
- 故障の原因となりますので、【メモリーカード挿入口】にはメモリーカード以外のものを入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切り、電池を抜いて、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。
- 【動作確認用ランプ】が点滅している間にメモリーカードを取り出さないでください。撮影された画像がメモリーカードに記録されなかったり、メモリーカードを破壊する恐れがあります。

メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードをフォーマットすると、メモリーカードの内容がすべて消去されます。

重要!
- メモリーカードは必ずカメラでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットすると処理速度が著しく遅くなります。またSDメモリーカードの場合、SD規格非準拠となり、互換性・性能等で問題が生じる場合があります。
- メモリーカードをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。フォーマット操作を行う際は、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- ファイルデータにメモリープロテクト(128ページ)をかけていても、メモリーカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。

1. **本機にメモリーカードを入れます。**

2. **電源を入れ、RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。**

3. **“設定”タブ→“フォーマット”と選び、【▶】を押します。**

4. **【▲】【▼】で“フォーマット”を選び、【SET】を押します。**
- フォーマットを実行しないときは、“キャンセル”を選んでください。

メモリーカードのご注意

- 万一メモリーカードの異常が発生した場合は、メモリーカードのフォーマット操作で復帰できますが、外出先などでこの操作を行えない場合に備えて複数枚のメモリーカードを持たれることをおすすめします。
- 異常と思われる画像を撮影したり、新たにメモリーカードをご購入された場合は、一度フォーマット(初期化)してお使いいただくことをおすすめいたします。
- フォーマット操作を行うときは、充電式電池をフル充電状態にしてから行ってください。フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行われず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。

ファイルをコピーする

内蔵フラッシュメモリーとメモリーカードの間で、ファイルをコピーすることができます。

重要!
- コピーできるのはカメラで撮影した静止画、動画、音声付き静止画、ボイスレコードファイルだけです。その他のファイルはコピーできませんので、ご注意ください。
- お気に入りフォルダに登録されているファイルは、コピーできません。
- 音声付き画像は画像ファイルと音声ファイルの両方をコピーします。

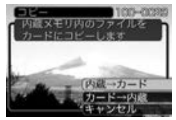
内蔵メモリーからメモリーカードにファイルをコピーする

ファイルのコピーは、一括で行われます。

1. **本機にメモリーカードを入れます。**

2. **電源を入れ、PLAYモードにして【MENU】を押します。**

3. **“再生機能”タブ→“コピー”と選び、【▶】を押します。**



4. **【▲】【▼】で“内蔵→カード”を選び、【SET】を押します。**
- コピーが始まり、“処理中です　しばらくお待ちください”と表示されます。
- コピーが終わると、コピーしたフォルダの一番最後にあるファイルを表示します。

メモリーカードから内蔵メモリーにファイルをコピーする

ファイルのコピーは画像を確認しながら、1枚ずつ行います。

1. 「内蔵メモリーからメモリーカードにファイルをコピーする」の手順1～3と同じ操作を行います。

2. 【▲】【▼】で"カード→内蔵"を選び、【SET】を押します。

3. 【◀】【▶】でコピーしたいファイルを選びます。

4. 【▲】【▼】で"コピー"を選び、【SET】を押します。
- コピーが始まり、"処理中です　しばらくお待ちください"と表示されます。
- コピーが終わると、コピー前に表示していたファイルに戻ります。
- 手順3～4をくり返して、他の画像をコピーすることができます。

5. 【MENU】を押して、コピーの操作を終了します。

参考 • ファイルは内蔵メモリー内の一番大きい番号のフォルダにコピーされます。

プリント(印刷)する

プリント(印刷)するには

デジタルカメラで撮影した画像は、さまざまな方法でプリント(印刷)することができます。プリント方法は大きく分けて下記の3つになります。ご使用されている環境にあわせてプリントしてください。

■ お店でプリントする場合

DPOF 機能を利用することで、希望の画像を希望の枚数でプリントを依頼することができます。
→「DPOF 機能について」(147ページ)

■ カードスロット付／デジタルカメラ接続対応プリンターでプリントする場合

DPOF 機能を利用することで、希望の画像を希望の枚数でプリントすることができます。また、PictBridgeまたはUSB DIRECT - PRINT に対応しているプリンターでは、カメラを直接プリンターに接続してプリントすることができます。
→「DPOF 機能について」(147ページ)
→「PictBridge／USB DIRECT - PRINT について」(149ページ)

■ パソコンソフトを使用してプリントする場合

Windows では、パソコンにカメラを接続して(154ページ)、付属のソフト(Photo LoaderとPhotohands)をインストール(177 ページ)することで、画像の取り込み、管理、プリントをすることができます。
→「パソコンでファイルを見る」(154ページ)
→「ソフトをインストールする」(177ページ)

重要! • パソコンの接続方法、ソフトのインストール方法については上記のページをご覧になり、操作手順に従ってください。

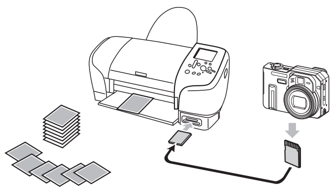
Macintosh では、パソコンにカメラを接続して(160ページ)、付属のソフト(Photo Loader)をインストール(177ページ)することで、画像の取り込み、管理ができます。ただし、プリントはできません。市販のプリント用ソフトをご利用ください。
→「パソコンでファイルを見る」(154ページ)
→「ソフトをインストールする」(177ページ)

重要! • パソコンの接続方法、ソフトのインストール方法については上記のページをご覧になり、操作手順に従ってください。

DPOF機能について

DPOF(Digital Print Order Format)とはデジタルカメラで撮影した中からプリントしたい画像や枚数などの設定情報をメモリーカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。DPOF対応の家庭用プリンターやサービスラボでプリントすることができます。
本機では撮影された画像ファイル名などを意識することなく、【液晶モニター】で確認しながらプリントしたい画像の設定を行うことができます。

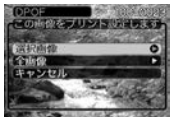
- 設定可能な内容
  画像／枚数／日付



1画像単位で印刷設定する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"DPOF"と選び、【▶】を押します。



3. 【▲】【▼】で"選択画像"を選び、【▶】を押します。

4. 【◀】【▶】で印刷したい画像を表示させます。



5. 【▲】【▼】で印刷する枚数を決めます。
- 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は"00"にしてください。

6. 日付を印刷したい場合は、【DISP】を押して を表示させます。
- は日付印刷が設定されたことを表します。
- 日付が不要なときは、【DISP】を押して を消してください。
- 他の画像を印刷する場合は、操作4～6をくり返してください。

7. 【SET】を押します。
- 印刷する枚数が設定されます。

全画像に印刷設定する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"DPOF"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で"全画像"を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で印刷する枚数を決めます。
- 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は"00"にしてください。



5. 日付を印刷したい場合は、【DISP】を押して を表示させます。
- は日付印刷が設定されたことを表します。
- 日付が不要なときは、【DISP】を押して を消してください。

6. 【SET】を押します。
- 印刷する枚数が設定されます。

重要!
- お店にプリントを注文する場合は、注文時に「DPOF でプリントする画像、枚数、日付を設定済みです」とお伝えください。お伝えいただかないと、すべての画像がプリントされてしまうことがあります。
- プリントをするお店によってはDPOF 機能に対応していない場合がありますので、あらかじめご確認ください。
- プリンターによっては日付の設定が無効になったり、DPOF に対応していない場合がありますので、プリンターの取扱説明書に従って操作してください。

PictBridge／USB DIRECT - PRINTについて

本製品はPictBridgeまたは、USB DIRECT - PRINT対応プリンタに直接接続し、デジタルカメラのモニター上で写真選択や印刷開始を指示することができます。DPOF機能(147ページ)で登録した画像も印刷することができます。

本製品は下記の規格に対応しています。
- PictBridge(ピクトブリッジ)：
  カメラ映像機器工業会(CIPA)制定の規格です。
- USB DIRECT - PRINT：
  セイコーエプソン株式会社提唱の規格です。

重要!
- PictBridge/USB DIRECT-PRINTで印刷する場合、別売のACアダプター(AD-C40)を使用することをおすすめします。

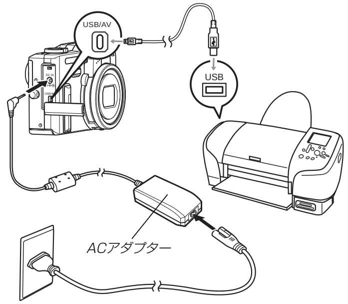
1枚ずつプリントする

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"USB"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で使用するプリンターにあわせて設定を選び、【SET】を押します。
- Mass Storage (USB DIRECT - PRINT)：
  ご使用のプリンターがUSB DIRECT - PRINT対応の場合、こちらを選びます。パソコンにカメラを外部記憶装置として認識させる方法です。通常、パソコンへの画像の保存の操作時はこちらを選んでください。
- PTP (PictBridge)：
  ご使用のプリンターがPictBridge対応の場合、こちらを選びます。画像データを外部接続機器に簡単に転送するための接続方法です。

4. 別売のACアダプターをカメラに接続して、カメラに電源を供給します。
- 電池を使用する場合は、電池残量が十分な電池をカメラにセットしてください。
- USBケーブルからは電源は供給されません。



5. カメラに付属のUSBケーブルでカメラとプリンターを接続します。

6. プリンターの印刷用紙をセットします。

7. プリンターの電源を入れます。
- カメラにプリントメニュー画面が表示されます。



8. 【▲】【▼】で"1枚プリント"を選び、【SET】を押します。
- 【◀】【▶】でプリントしたい画像が選べます。
- 【DISP】を押すことで日付設定の入／切を切り替えることができます。 を表示させると、日付けがプリントされます。



9. 【▲】【▼】で"プリント"を選び、【SET】を押します。
- プリントを開始すると"処理中です　しばらくお待ちください"と【液晶モニター】に表示されます。しばらくすると表示が消えますが、印刷は終了していません。カメラの何かボタンを押すことで、プリントの状況を【液晶モニター】に再表示させることができます。
- プリントが終了すると、プリントメニュー画面が表示されます。
- もう一度印刷する場合は、手順8から同様の操作を行ってください。

10. 印刷が終了したら電源が切れますので、カメラをはずしてください。

まとめてプリントする

1. DPOF 機能(147 ページ)で、印刷したい画像をあらかじめ指定します。

2. 「1枚ずつプリントする」(150ページ)の手順1から7まで操作します。

3. 【▲】【▼】で"DPOF"を選び、【SET】を押します。

4. 【▲】【▼】で"プリント"を選び、【SET】を押します。
- プリントを開始すると"処理中です　しばらくお待ちください"と【液晶モニター】に表示されます。しばらくすると表示が消えますが、印刷は終了していません。カメラの何かボタンを押すことで、プリントの状況を【液晶モニター】に再表示させることができます。
- プリントが終了すると、プリントメニュー画面が表示されます。
- DPOF機能で指定した画像が自動的に印刷されます。
- もう一度印刷する場合は、手順3から同様の操作を行ってください。
- DPOFの設定をしていない場合はメッセージが表示され、DPOFの設定画面(147ページ)が表示されます。このときは、DPOFの設定を行ってから、もう一度プリントの操作を行ってください。

5. 印刷が終了したら電源が切れますので、カメラをはずしてください。

プリントについてのご注意

- 印刷品位や用紙の設定についてはプリンターの取扱説明書をご覧ください。
- DPOF対応プリンターの機種名やプリンターのバージョンアップ等については、プリンターメーカーへお問い合わせください。
- 印刷中はケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。プリンターがエラーを起すことがあります。

PRINT Image MatchingⅡについて

本製品はPRINT Image MatchingⅡに対応しています。PRINT Image MatchingⅡ対応プリンターでの出力及び対応ソフトウエアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。

PRINT Image Matching及びPRINT Image MatchingⅡに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

Exif Printについて

Exif Print (Exif2.2) は、対応プリンターをお使いの場合に画像ファイルに記録された撮影情報を印刷出力に反映させることを可能にします。

重要!
- Exif Print対応プリンターの機種名やプリンターのバージョンアップ等については、各プリンターメーカーへお問い合わせください。

パソコンでファイルを見る

このカメラは、USBケーブルを介してUSB端子を備えたパソコンと接続して、パソコンでファイルを見たり、保存することができます。USB接続を行うには、使用するパソコンによっては付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)からUSBドライバをパソコンにインストールする必要があります。

お持ちのパソコンがWindowsの場合

パソコンにファイルを取り込むためには次の手順で操作します。

1. Windows98/Me/2000を使っている場合はUSBドライバをパソコンにインストールする。
   - 初めて使用するときだけ必要です。
   - Windows XPの場合はインストールの必要はありません。

2. カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する。

3. 画像ファイルを見る／コピーする。

具体的な操作方法は以降に記載されていますので、手順に従って操作してください。また、接続するパソコンの取扱説明書もあわせてお読みください。

重要!
- パソコンと通信を行う際、電池残量の少ない電池で本機を使用しますと、画像データを通信中に電源が切れる可能性があります。パソコンとの通信には、専用ACアダプター(別売品)を使用することをおすすめします。
- 内蔵メモリーに保存されているファイルデータをパソコンに転送する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBケーブルを接続してください。

USBドライバをインストールする前に、カメラをパソコンに接続しないでください。パソコンがカメラを認識しなくなります。
- Windows 98/Me/2000をお使いの場合は、USBドライバのインストールが必要です。この場合、インストール前にカメラをパソコンに接続しないでください。
- Windows XPをお使いの場合は、USBドライバのインストールは不要です。

1. Windows98/Me/2000をお使いの場合は、操作2へ進んでください。WindowsXPをご使用の場合は、USBドライバをインストールする必要はありませんので、操作6に進んでください。
- この操作手順はWindows98をもとに制作されています。

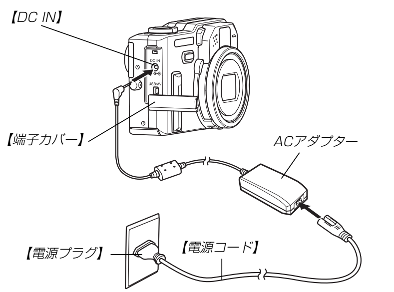
2. 付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)をパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

3. MENU上の「日本語」をクリックします。
- MENU上の「English」をクリックすると英語版のソフトをインストールすることができますが、通常は日本語版のソフトのみをインストールしてください。

4. 「USB driver」の「インストール」をクリックします。
- インストールが開始されます。

5. セットアップ完了の画面が表示されたら「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」をチェックして「完了」をクリックし、パソコンを再起動させます。

6. 別売のACアダプター(AD-C40)をカメラの【DC IN】と家庭用コンセントに接続します。
- 電池を使用する場合は、電池残量が十分な電池をカメラにセットしてください。

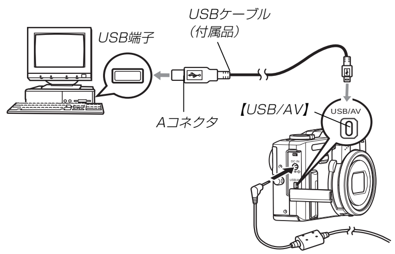


7. カメラの電源を入れます。
- USB接続は、RECモードでもPLAYモードでも可能です。

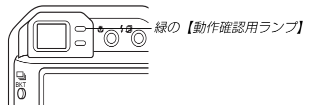
8. "設定"タブ→"USB"と選び、【▶】を押します。

9. 【▲】【▼】で"Mass Storage"を選び、【SET】を押します。

10. 付属のUSBケーブルでカメラの【USB/AV】(USB/AV接続端子)とパソコンのUSB端子を接続します。



- 「新しいハードウェア…」とダイアログが表示され、自動的にカメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーが認識されます。次回からはパソコンとカメラをUSBケーブルを介して接続するだけで、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを認識します。
- カメラの緑の【動作確認用ランプ】が点灯します(186ページ)。



- パソコンのOSの環境によっては、「リムーバブル ディスク」ガイダンスが表示されることがあります。この場合は、ガイダンスを閉じてください。
- USBケーブルをパソコンとカメラに接続するときは、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されないと、正常に動作しません。

11.「マイコンピュータ」をダブルクリックします。



- Windows XPでは、画面上の「スタート」→「マイコンピュータ」の順でクリックします。

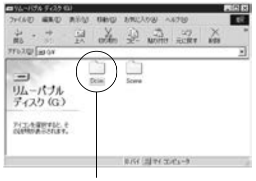
12.「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。



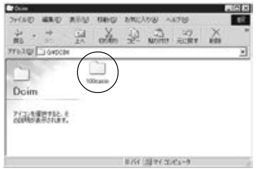
リムーバブルディスク

13.「Dcim」フォルダをダブルクリックします。

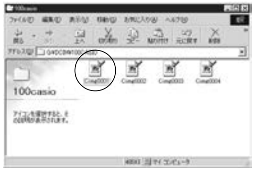


Dcim

14. 見たい画像の入ったフォルダをダブルクリックします。



15. 見たい画像ファイルをダブルクリックして、画像を見ます。



- ファイル名については「メモリー内のディレクトリ構造」(166ページ)を参照ください。

16. ファイルを保存する場合は、次のように操作します。

■Windows 98/2000/Meの場合：

①「リムーバブルディスク」内の「Dcim」フォルダを右ボタンでクリックします。
②メニューの「コピー」をクリックします。
③「マイドキュメント」をダブルクリックして開きます。
④「マイドキュメント」のメニューで「編集」→「貼り付け」の順でクリックします。

- これで「Dcim」フォルダ(画像ファイルが保存されているフォルダ)が「マイドキュメント」フォルダにコピーされます。

■Windows XPの場合：

①「リムーバブルディスク」内の「Dcim」フォルダを右ボタンでクリックします。
②メニューの「コピー」をクリックします。
③「スタート」→「マイドキュメント」の順でクリックします。
④「マイドキュメント」メニューで「編集」→「貼り付け」の順でクリックします。

- これで「Dcim」フォルダ(画像ファイルが保存されているフォルダ)が「マイドキュメント」フォルダにコピーされます。

重要! • カメラ内やメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行わないでください。パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行った場合は、画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正、削除、移動、名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。

17. USB接続を終えます。

- WindowsMe/98/XPの場合：
  カメラの【電源ボタン】を押して、緑の【動作確認用ランプ】が消灯したのを確認してから、カメラを取りはずします。
- Windows2000の場合：
  パソコン画面上のタスクトレイのカードサービスを左クリックし、カメラに割り当てられているドライブ番号の停止を選択します。その後、カメラを取りはずし、カメラの電源を切ります。

USB接続時のご注意

- パソコンのモニターに同一の画像を表示して放置しておくことはお止めください。残像現象(画面焼け)を起す場合があります。
- 通信中にケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

お持ちのパソコンがMacintoshの場合

Macintoshにファイルを取り込むためには次の手順で操作します。

重要! • Mac OS 8.6以前、またはMac OS Xの10.0では使用できません。Mac OS 9、X(10.1、10.2以降)では、OS標準のUSBドライバにより使用できます。

1. カメラとMacintoshをUSBケーブルで接続する。

↓

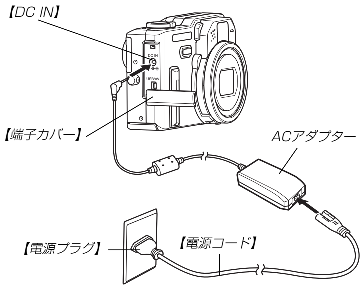
2. 画像ファイルを見る／コピーする。

具体的な操作方法は以降に記載されていますので、手順に従って操作してください。また、接続するパソコンの取扱説明書もあわせてお読みください。

重要!
- パソコンと通信を行う際、電池残量の少ない電池で本機を使用しますと、画像データを通信中に電源が切れる可能性があります。パソコンとの通信には、専用ACアダプター(別売品)を使用することをおすすめします。
- 内蔵メモリーに保存されているファイルデータをパソコンに転送する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBケーブルを接続してください。

1. 別売の ACアダプターをカメラの【DC IN】と家庭用コンセントに接続します。

- 電池を使用する場合は、電池残量が十分な電池をカメラにセットしてください。



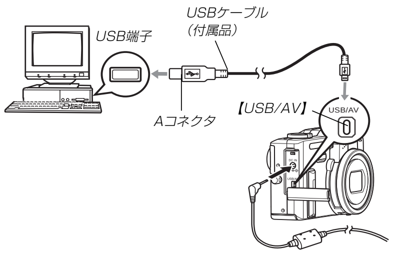
2. カメラの電源を入れます。

- USB接続は、RECモードでもPLAYモードでも可能です。

3. “設定”タブ→“USB”と選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で“Mass Storage”と選び、【SET】を押します。

5. 付属のUSBケーブルでカメラの【USB/AV】(USB/AV接続端子)とパソコンのUSB端子を接続します。



- USBケーブルをパソコンとカメラに接続するときは、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されないと、正常に動作しません。

6. カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーがドライブとして認識されます。



- Mac OS のバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。
- 次回からはMacintoshとカメラをUSBケーブルを介して接続するだけで、カメラ内のメモリーカードや内蔵メモリーをドライブとして認識します。

7. 表示されたドライブ→「DCIM」フォルダ→見たい画像の入ったフォルダの順でダブルクリックします。

8. 見たい画像ファイルをダブルクリックして、画像を見ます。

- ファイル名については「メモリー内のディレクトリ構造」(166ページ)を参照ください。

9. ファイルを保存する場合は「DCIM」フォルダを保存したいフォルダにドラッグアンドドロップします。

- 「DCIM」フォルダがMacintosh内のフォルダにコピーされます。

参考 • ドラッグアンドドロップとは、マウスのポインタ(矢印)が画像ファイルのアイコン上に重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままマウスを移動(ドラッグ)させて、別の場所でマウスのボタンを離す(ドロップ)操作のことをいいます。

重要! • カメラ内やメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行わないでください。パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行った場合は、画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正、削除、移動、名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。

10. USB接続を終えるには、画面上のカメラのドライブをゴミ箱へドラッグアンドドロップします。その後、カメラをUSBケーブルから取りはずし、カメラの電源を切ります。

USB接続時のご注意

- パソコンのモニターに同一の画像を表示して放置しておくことはお止めください。残像現象(画面焼け)を起す場合があります。
- 通信中にケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

パソコンでいろいろなことができます

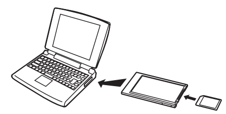
撮影画像をパソコンでさまざまに活用することができます。活用方法については、下記のページを参考にしてください。

- アルバム形式で見たい
  ………「アルバム機能を使う」(169ページ)
- アルバム形式で印刷したい
  ………「アルバム機能を使う」(169ページ)
- 画像を自動取り込み／管理したい
  ………「ソフトをインストールする」(177ページ)を参照して、Photo Loaderをインストールしてください。
- 画像をレタッチ(加工)したい
  ………「ソフトをインストールする」(177ページ)を参照して、Photohandsをインストールしてください。

メモリーカードを直接接続して取り込む

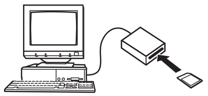
パソコンとのファイルのやりとりをメモリーカードから直接行うことができます。パソコンの機種によって接続方法が異なります。代表的な接続方法は次の通りです。

- SDメモリーカードスロットのある機種
  SDメモリーカードを直接差し込みます。
- PCカードスロットのある機種
  市販のPCカードアダプター(SDメモリーカード／MMC用)を使用します。
  具体的な使用方法はPCカードアダプターとパソコンに付属の取扱説明書を参照ください。

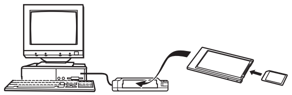


- 前記以外の機種

1) 市販のSDメモリーカード用リーダー／ライターを使用します。
具体的な使用方法はSDメモリーカード用リーダー／ライターに付属の取扱説明書を参照ください。



2) 市販のPCカード用リーダー／ライターと市販のPCカードアダプター（SDメモリーカード／MMC用）を使用します。
具体的な使用方法はPCカード用リーダー／ライターとPCカードアダプターに付属の取扱説明書を参照ください。



メモリー内のデータについて

本機で撮影された画像やその他のデータは、DCF(Design rule for Camera File system)規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。DCF規格とは、画像ファイルと画像に関連するファイルをデジタルカメラと関連機器の間で簡単に交換することを目的とした規格です。

DCF規格について

DCF規格対応の機器（デジタルカメラやプリンターなど）の間で画像の互換性があります。画像ファイルのデータ形式やメモリー内のディレクトリ構造に規定がありますので、本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見たり、この規格対応の他社のプリンターで印刷したりすることができます。逆にDCF規格対応の他社のデジタルカメラの画像も本機で見ることができます。

メモリー内のディレクトリ構造

■ディレクトリ構造

DCIM	（DCIMフォルダ）
100CASIO	（記録フォルダ）
CIMG0001.JPG	（画像ファイル）
CIMG0002.AVI	（ムービーファイル）
CIMG0003.WAV	（音声ファイル）
CIMG0004.JPG	（音声付き静止画／画像ファイル）
CIMG0004.WAV	（音声付き静止画／音声ファイル）
：	
101CASIO	（記録フォルダ）
102CASIO	（記録フォルダ）
：	
ALBUM	（アルバムフォルダ）
INDEX.HTM	（アルバムのHTMLファイル）
FAVORITE*	（お気に入りフォルダ）
CIMG0001.JPG	（記録ファイル）
CIMG0002.JPG	（記録ファイル）
：	
MISC	（DPOFファイルを収めたフォルダ）
AUTPRINT.MRK	（DPOFファイル）
TIFF	（TIFFデータ用フォルダ）
100 CASIO	（TIFF画像用フォルダ）
CIMG0001.TIF	（TIFF画像ファイル）
SCENE*	（ベストショット用フォルダ）
UP600001.JPE	（カスタム登録されたシーンファイル）
UP600002.JPE	（カスタム登録されたシーンファイル）
：	

※ 内蔵メモリー内にのみ作成されるフォルダです。

■フォルダ／ファイルの内容

- DCIMフォルダ
デジタルカメラで扱うファイルすべてを収めたフォルダです。
- 記録フォルダ
デジタルカメラで記録したファイルを収めたフォルダです。
- 画像ファイル
デジタルカメラで撮影した画像ファイルです。拡張子は「JPG」です。
- ムービーファイル
デジタルカメラで撮影したムービーファイルです。拡張子は「AVI」です。
- 音声ファイル
音声を記録したファイルです。 拡張子は「WAV」です。
- 音声付き静止画／画像ファイル
音声付き静止画の画像を記録したファイルです。拡張子は「JPG」です。
- 音声付き静止画／音声ファイル
音声付き静止画の音声を記録したファイルです。拡張子は「WAV」です。
- アルバムフォルダ
アルバム機能で使用するファイルを収めたフォルダです。
- アルバムのHTMLファイル
アルバム機能で使用するファイルです。拡張子は「HTM」です。
- お気に入りフォルダ
お気に入りの画像ファイルを収めたフォルダです。
320×240pixelsの画像として収められています。
- DPOFファイルを収めたフォルダ
DPOFファイルなどを収めたフォルダです。
- TIFFデータ用フォルダ
TIFFデータを収めた親フォルダです。
- TIFF画像用フォルダ
TIFF形式で保存した画像を収めたフォルダです。
- TIFF画像ファイル
TIFF形式で保存した画像ファイルです。拡張子は「TIF」です。
- ベストショット用フォルダ（内蔵メモリーのみ）
カスタム登録されたシーンファイルを収めたフォルダです。
- カスタム登録されたシーンファイル（内蔵メモリーのみ）
ベストショットモードで使用されるファイルです。

このデジタルカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

※ DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

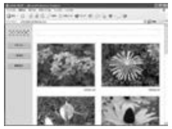
- メモリーの内容をパソコンのハードディスクやCD-R、MOディスクなどに保存する際は"DCIM"フォルダごと保存してください。その際"DCIM"フォルダの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーに戻して本機で再生する場合は、フォルダ名をパソコン上で"DCIM"に戻してからご使用ください。本機では"DCIM"以外の名前のフォルダは認識されません。"DCIM"フォルダ内の他のフォルダ名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してから使用してください。

パソコンでファイルを活用する

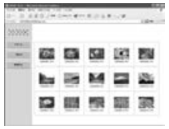
アルバム機能を使用するとパソコンにアルバム形式で画像を表示させることができます。また、付属のCD-ROM内に収録されているソフトウェアをインストールすることで、パソコンでのファイルの自動取り込みや画像のレタッチをすることができます。

アルバム機能を使う

アルバム機能とは、本機で撮影した画像をレイアウトしたHTMLファイルを作成し、ホームページ上で一覧表示したり、印刷することができる機能です。



アルバム



一覧表示



情報表示

- 本機で作成したアルバムは、次のWebブラウザで見たり、印刷することができます。ただし、Windows 98/2000で動画を再生する場合はDirect Xが必要です。

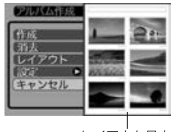
  Microsoft Internet Explorer Ver 5.5以上

アルバムを作成する

重要!
- アルバムを作成すると"ALBUM"フォルダ(166ページ)が作成され、同じ画像データが複数枚メモリー内に保存されてしまいます。"ALBUM"フォルダを残したまま、お店にプリントを注文したり、プリンターですべての画像を印刷しようとすると、小さくリサイズされた同じ画像が複数枚印刷されてしまう場合がありますので、ご注意ください。アルバム機能を使用しない場合はアルバムを消去(176ページ)することで、上記の問題を解消することができます。

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"アルバム作成"と選び、【▶】を押します。



レイアウト見本

3. 【▲】【▼】で"作成"を選び、【SET】を押します。
- アルバムの作成を開始し、"処理中です　しばらくお待ちください"と表示します。
- アルバムの作成が終了すると、アルバム作成メニューに入る前の画面に戻ります。
- アルバムを作成すると、内蔵メモリーまたはメモリーカード内の"ALBUM"フォルダの中に"INDEX.HTM"ファイル、その他アルバム用のファイルが作成されます。

重要!
- アルバム作成中に次の操作を行うと、アルバム用のファイルが作成されないばかりでなく、画像データ等のメモリー内のデータが破壊される恐れがあります。アルバム作成中は、下記の操作は絶対に行わないでください。
  - 【電池カバー】を開ける
  - メモリーカードを抜く
  - その他異常操作
- アルバム作成中にメモリーが一杯になったときは、"メモリがいっぱいです"と表示した後、アルバムの作成を中止します。
- 電池が切れかかっているときは、アルバムが正常に作成されない場合があります。
- アルバムの詳細設定で"自動作成"をする/しないのどちらに設定していても、【SET】を押すと、アルバムの作成を自動的に開始します(173ページ)。
- 作成された"ALBUM"フォルダ(166ページ)内の画像は、カメラで見ることはできません。

アルバムのレイアウトを選ぶ

10種類のレイアウトの中から、表示したときのレイアウトを選ぶことができます。

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"アルバム作成"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で"レイアウト"を選びます。

4. 【◀】【▶】で表示したいレイアウトを選びます。
- 【◀】【▶】を押すと、画面右横のレイアウト見本が切り替わります。

重要!
- レイアウト見本上に表示されるのはアルバムのレイアウトおよび背景色です。一覧/情報表示付きかどうかや用途の内容(閲覧/WEB/プリント)は表示されません。

アルバムの詳細を設定する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"アルバム作成"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で"設定"を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で設定項目を選び、【▶】を押します。
- 各設定項目の設定内容につきましては、以降をご覧ください。



5. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

■ 背景色を選ぶ

アルバムの背景色を白/黒/グレーの中から選ぶことができます。
- 背景色を選ぶと、一つ前の画面で表示されていたレイアウト見本上に選んだ色が表示されます。

■ タイプを選ぶ

アルバムのタイプを、標準タイプと一覧/情報付きタイプに切り替えることができます。

標準タイプ	:選んだレイアウトに従って画像を表示するタイプです。
一覧/情報付きタイプ	:アルバム表示の他、画像の簡単な一覧表示や撮影時の情報を同時に表示できるタイプです。

■ 用途を選ぶ

閲覧:	簡易画像でアルバム表示されますので、簡単に画像を確認したりホームページ上で素早く閲覧したい場合に便利です。また、画像をクリックすると、大きな画像が表示されますので、細部を確認したり、画像を1枚ずつきれいに印刷したい場合にお使いください。AVIファイルをクリックすると動画を再生します。CD-Rなどにコピーして配布するときなどに最適です。
WEB:	簡易画像でアルバム表示され、簡単に画像を確認したり、ホームページ上で素早く閲覧したい場合に便利です。"DCIM"フォルダ内にあるデータ量の少ない"ALBUM"のみで動作しますので、特にインターネットで利用するときに素早くアップロードできます。ただし、画像の拡大や動画の再生はできません。
プリント:	詳細画像でアルバム表示するため、アルバムをきれいに印刷したい場合にお使いください。ただし、表示するのに時間がかかる場合があります。また、画像の拡大や動画の再生はできません。

■ 自動作成をする／しないを設定する

アルバム用のファイルを、電源を切ったときに自動的に作成するかどうかを設定することができます。

入：電源を切ったとき、内蔵メモリーまたはメモリーカード内にアルバム用のファイルを自動的に作成します。
切：電源を切ったとき、アルバム用のファイルを自動的に作成しません。

重要! • 自動作成を"入"に設定している場合、電源を切ると【液晶モニター】は消灯しますが、緑の【動作確認用ランプ】は数秒間点滅しています。この間はアルバム用のファイルを作成していますので、下記の操作は絶対に行わないでください。
－【電池カバー】を開ける
－メモリーカードを抜く
－その他異常操作

参考 • 自動作成を"入"に設定すると、電源を切るときにアルバム用のファイルを作成するため、メモリー内の画像枚数に応じて、電源が切れるまでの時間が長くなります。もし、アルバム機能を使用しない場合は、自動作成を"切"に設定することをおすすめします。"切"に設定すると電源が切れるまでの時間が短くなります。

アルバムファイルを見る

アルバムファイルはパソコンで使用しているWebブラウザで見たり、印刷することができます。

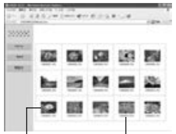
1. **内蔵メモリーまたはメモリーカード内のデータをパソコンに読み込むか、メモリーカードをパソコンに接続します（154、164ページ）。**

2. **内蔵メモリーまたはメモリーカード内の"DCIM"フォルダの中の"ALBUM"フォルダを開きます。**

3. **"INDEX.HTM"ファイルをWebブラウザで開きます。**

• 内蔵メモリーまたはメモリーカード内のフォルダの画像が一覧表示されます。

一覧／情報付きタイプの場合



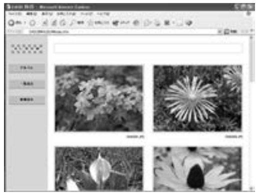
4. **一覧／情報付きタイプでアルバムを作成した場合は、インターネットのホームページを見る要領で下記の部分をクリックして操作します。**

アルバム：カメラで作成したアルバムが表示されます。
一覧表示：フォルダ内の画像の一覧が表示されます。
情報表示：各画像の情報が表示されます。

• 用途を"閲覧"に設定しているとき、パソコン上に表示されている画像をダブルクリックすると、撮影したサイズそのままの大きさの画像が表示されます。



一覧表示



アルバム



情報表示

• 表示される画像情報の内容
ファイルサイズ
画像サイズ
撮影画質
撮影モード
露出モード
ドライブモード
測光方式
シャッタースピード
絞り
露出補正
測距方式
AFエリア
フラッシュモード
シャープネス
彩度
コントラスト
ホワイトバランス
感度
フィルター
色強調
フラッシュ光量
デジタルズーム
訪問先
撮影日時
モデル名

参考 • アルバム部分を印刷する場合は、Webブラウザの設定を下記のようにしておくことをおすすめいたします。
－アルバムが表示されているフレームを選択する。
－なるべく余白を少なくする。
－背景の色を印刷可能な設定にする。
• 印刷や設定のしかたについては、Webブラウザの取扱説明書をお読みください。
• アルバム内容の編集（タイトルやコメントの入力など）は、カメラで行うことはできません。編集したいときは、市販のHTMLファイルが編集できるソフトをお使いください。

5. **アルバムを終了するには、Webブラウザを終了してください。**

アルバムを保存する

• 内蔵メモリーまたはメモリーカード内の"DCIM"フォルダごとパソコンのハードディスクやCD-R、MOディスクなどに保存してください。"ALBUM"フォルダだけでは、必要なファイルが保存されませんのでご注意ください。保存後は"DCIM"内のファイルを更新したり消去しないでください。新たに画像を加えたり、消去したりすると、アルバムが正常に表示されなくなることがあります。
• メモリーカードを再びデジタルカメラで使用するときは、以前のファイルをすべて消去するか、フォーマットしてから使うことをおすすめします。ただし、フォーマットすると、メモリー内のデータはすべて消えます。
• "用途"の設定を"WEB"にした場合は"ALBUM"フォルダのみでもアルバムを見ることができます。データ量が少ないので、素早くインターネットにアップロードすることができます。

アルバムを消去する

1. **PLAYモードにして【MENU】を押します。**

2. **"再生機能"タブ→"アルバム作成"と選び、【▶】を押します。**

3. **【▲】【▼】で"消去"を選び、【SET】を押します。**

• アルバムが消去され、PLAYモードに戻ります。

ソフトをインストールする

本機には、パソコンで画像を活用するための便利なソフトが付属しています。目的に応じてソフトをインストールしてください。

付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)について

付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)には、以下のソフトウェアが収録されています。各ソフトの内容を確認し、必要に応じてソフトをパソコンにインストールしてください。

USBドライバ(マスストレージ)(Windows用)

デジタルカメラとパソコンをUSB接続するためのソフトです。

※ Windows XPではCD-ROM内のUSBドライバをインストールしないでください。USBケーブルでパソコンと接続するだけで、USB通信ができます。

Photo Loader(Windows用/Macintosh用)

デジタルカメラからパソコンに画像、音声付き画像やボイスレコードのWAVファイルを自動的に取り込むことができます。取り込んだ画像は年月日のフォルダ単位で管理し、カレンダー形式で検索できるHTMLファイルを自動作成しますので、Webブラウザを使用して画像を閲覧することができます。また、画像を手軽にメールに添付(Windows用のみ)することができます。

※ Photo Loaderの操作方法に関する説明は、電子文書(PDFファイル)化され、付属のCD-ROM内に収録されています。

Photohands(Windows用)

画像のカラー、コントラスト、明るさなどの調整(レタッチ)、サイズや向きの変更、トリミングができます。印刷または撮影日付を付けて印刷することもできます。

※ Photohandsの操作方法に関する説明は、電子文書(PDFファイル)化され、付属のCD-ROM内に収録されています。

Direct X(Windows用)

デジタルカメラで撮影した動画ファイルを、Windows 98/2000で扱うためのコーディックが含まれる機能拡張ツールです。Windows XP/Meにはインストール不要です。

Acrobat Reader(Windows用)

電子文書化されたPDFファイルを読むためのソフトです。CD-ROM内に収録されているPhoto Loader、Photohandsの取扱説明書を読むために使用します。

※ Photo Loader、Photohandsの取扱説明書をパソコンのディスプレイ上で表示する方法は、「取扱説明書(PDFファイル)を読む」(181、182ページ)をお読みください。

パソコンの動作環境について

使用するソフトによって、必要な動作環境が異なりますので、必ず確認してください。

Windows

	USBドライバ※1	Photo Loader	Photohands
OS	XP※2/2000/Me/98	XP/2000/Me/98	XP/2000/Me/98
CPU	486以上(Pentium以上推奨)	486以上(Pentium以上推奨)	Pentium以上
メモリ	−	16MB以上	64MB以上
HD	−	約7MB以上	約10MB以上

※1. Windows 2000の場合は、専用ドライバに代えてOS標準ドライバを使用するための情報ファイルとなります。
Windows 95/3.1からWindows Me/98に、Windows 95/NTからWindows 2000にバージョンアップしたパソコンでは動作保証いたしません。

※2. Windows XPでは、OS標準のUSBドライバを使用します。新たなインストールは不要です。

Macintosh

	Photo Loader
OS	9
CPU	Power PC
メモリ	32MB以上
HD	約3MB以上

- USB接続は、Macintosh OS 9/10.1/10.2で可能です。標準搭載のドライバで動作しますので、そのままUSBケーブルでカメラとパソコンを接続してください。

重要!
- Windowsの詳しい動作環境については、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)内の「お読みください」ファイルを参照して、確認してください。
- Macintoshの詳しい動作環境については、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)内の「CD-ROMの使いかた」ファイルをブラウザソフトでご覧ください。
- 付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)は、Mac OS X(10.0)には対応していません。

インストールする

付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)に収録されているソフトウェアを、パソコンにインストールします。

参考
- すでにパソコンにインストールしているソフトウェアは、バージョンを確認していただき、古い場合は、新たにインストールしてください。
- CD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)には日本語と英語のアプリケーションが搭載されていますので、必要な言語の方をインストールしてください(2重インストールには対応していません。)

Windows

■ 準備

1. パソコンを起動させ、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)をパソコンのCD-ROMドライブに入れると、MENUが自動的に起動します。

- パソコンの設定によっては自動的にMENUが表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックして起動させてください。

2. "Language"の「日本語」をクリックします。

- 英語のアプリケーションソフトをインストールしたい場合は「English」をクリックしてください。

■「お読みください」を読む

インストールする前に、必ずインストールするアプリケーションソフトの「お読みください」をお読みください。インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

1. インストールしたいアプリケーションソフトの「お読みください」をクリックします。

■ ソフトのインストール

1. インストールしたいアプリケーションソフトの「インストール」をクリックします。

2. 手順に従ってインストールします。

重要!
- Photo Loaderのバージョンアップ、再インストールやパソコンを変更する場合で、以前使用していたライブラリ情報を継続させる方法については、「お読みください」をご覧になり、手順をご確認願います。
手順通りにインストールしないと、以前のライブラリ管理情報やカレンダー形式のHTMLファイルがPhoto Loaderで見ることができなくなるばかりか、取り込んだ画像ファイルが消失する恐れがあります。
- Windows XP以外では、USBドライバをインストールする前に、パソコンとカメラを接続しないでください。

■ 取扱説明書(PDFファイル)を読む

1. "取扱説明書"のお読みになりたいアプリケーションソフトの名前をクリックします。

重要! • 取扱説明書をお読みになるには、パソコンにAdobe Acrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、「ソフトのインストール」でAdobe Acrobat Readerをインストールしてください。

■ ユーザ登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザ登録をすることができます。ユーザ登録をするには、パソコンがインターネットに接続されていることが必要です。

※ 会員制Webサイト「QVNet」「ExilimオフィシャルWebサイト」(211ページ)へのユーザ登録となります。ユーザ登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「QVNetをご利用になる前に」に記載されておりますので、ご確認をお願い致します。ユーザ登録はデジタルカメラ本体や付属ソフトのバージョンアップのご連絡その他情報発信を目的としております。付属ソフトウェアについては、ユーザ登録をしなくてもインストールや使用は可能です。

1. 「オンラインユーザ登録」をクリックします。
- Webブラウザソフトが起動し、ユーザ登録が可能になります。画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。

2. ユーザ登録が終了したら、インターネットの接続を終了してください。

■ 終了

1. 「終了」をクリックします。
- MENUを終了します。

Macintosh

■「CD-ROMの使いかた」を読む

インストールする前に、必ず「CD-ROMの使いかた」をお読みください。

1. 付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)をCD-ROMドライブにセットします。

2. CD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)内の「CD-ROMの使いかた」ファイルを開きます。

■ ソフトのインストール

インストールする前に、インストールするアプリケーションソフトの「はじめにお読みください」を必ずお読みください。インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

1. 付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)をCD-ROMドライブにセットします。

2. CD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)内の「CD-ROMの使いかた」ファイルを開きます。

3. 「ソフトウェアについて」をクリックします。

4. インストールするソフトウェア名をクリックし、インストール方法を確認します。

5. 手順に従ってインストールします。

重要! • Photo Loaderのバージョンアップ、再インストールやパソコンを変更する場合で、以前使用していたライブラリ情報を継続させる方法については、「お読みください」ファイルをご覧になり、手順をご確認願います。手順通りにインストールしないと、以前のライブラリ管理情報やカレンダー形式のHTMLファイルがPhoto Loaderで見ることができなくなるばかりか、取り込んだ画像ファイルが消失する恐れがあります。

■ 取扱説明書(PDFファイル)を読む

1. 付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)をCD-ROMドライブにセットします。

2. CD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)内の「CD-ROMの使いかた」ファイルを開きます。

3. 「取扱説明書を読む」をクリックします。

4. 読みたいソフトウェア名をクリックし、取扱説明書を表示させます。

重要! • 取扱説明書をお読みになるには、パソコンにAdobe Acrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、アドビ システムズ(株)のホームページより Adobe Acrobat Reader をダウンロードして、Adobe Acrobat Readerをインストールしてください。

■ ユーザ登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザ登録をすることができます。ExilimオフィシャルWebサイトにて登録を行ってください。

※ 会員制Webサイト「QVNet」「ExilimオフィシャルWebサイト」(211ページ)へのユーザ登録となります。ユーザ登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「QVNetをご利用になる前に」に記載されておりますので、ご確認をお願い致します。ユーザ登録はデジタルカメラ本体や付属ソフトのバージョンアップのご連絡その他情報発信を目的としております。付属ソフトウェアについては、ユーザ登録をしなくてもインストールや使用は可能です。

付録

メニュー一覧表

RECモード、PLAYモードの各タブのメニューに表示される項目の一覧表です。
- 下線の引いてある項目は工場出荷時に選択されている項目です。

RECモード

●撮影設定タブメニュー

サイズ	2816×2112／2816×1872(3:2)／2048×1536／1600×1200／1280×960／640×480
画質	高精細／標準／エコノミー／TIFF
EVシフト	-2.0／-1.7／-1.3／-1.0／-0.7／-0.3／0.0／+0.3／+0.7／+1.0／+1.3／+1.7／+2.0
ホワイトバランス	オート／太陽光／曇天／日陰／電球／蛍光灯１／蛍光灯２／フラッシュ／マニュアル
ISO 感度	オート／ISO 50／ISO 100／ISO 200／ISO 400
AF方式	ハイブリッド／コンティニアス／コントラスト
AFエリア	スポット／マルチ／フリー
測光方式	マルチ／中央重点／スポット
音声付静止画	入／切
フィルター	切／白黒／セピア／赤／緑／青／黄／ピンク／紫
シャープネス	ハード／標準／ソフト
彩度	高／標準／低
コントラスト	高／標準／低
フラッシュ光量	強／標準／弱
グリッド表示	入／切
デジタルズーム	入／切
撮影レビュー	入／切
左右キー設定	EVシフト／ホワイトバランス／ISO感度／測光方式／AFエリア／切

●モードメモリタブメニュー

フラッシュ	入／切
フォーカス方式	入／切
ホワイトバランス	入／切
ISO 感度	入／切
AFエリア	入／切
測光方式	入／切
連写／BKT	入／切
フラッシュ光量	入／切
デジタルズーム	入／切
MF位置	入／切
ズーム位置	入／切

●設定タブメニュー

操作音	起動音／ハーフシャッター／シャッター／操作音／音量
起動画面	入(画像選択)／切
ファイルNo.	メモリする／メモリしない
ワールドタイム	自宅／訪問先
	ホームタイムの詳細設定(都市名、サマータイムなど)
	ワールドタイムの詳細設定(都市名、サマータイムなど)
表示スタイル	年/月/日／日/月/年／月/日/年
日時設定	日付と時刻の設定
Language	日本語／English／Français／Deutsch／Español／Italiano／Português／中國語／中国语／한국어
スリープ	30秒／1分／2分／切
オートパワーオフ	2分／5分
USB	Mass Storage (USB DIRECT- PRINT)／PTP (PictBridge)
ビデオ出力	NTSC／PAL
フォーマット	フォーマット／キャンセル
リセット	リセット／キャンセル

PLAYモード

●再生設定タブメニュー

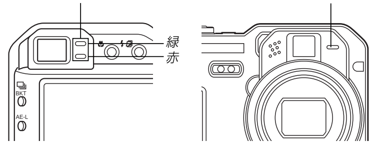
スライドショー	開始／表示画像／時間／間隔／キャンセル
カレンダー表示	ー
お気に入り	表示／登録／キャンセル
DPOF	選択画像／全画像／キャンセル
プロテクト	オン／全ファイル　オン／キャンセル
回転表示	回転／キャンセル
リサイズ	1600×1200／1280×960／640×480／キャンセル
トリミング	ー
アルバム作成	作成／消去／レイアウト／設定／キャンセル
アフレコ	ー
アラーム	アラームの詳細設定
コピー	内蔵→カード／カード→内蔵／キャンセル

●設定タブメニュー

操作音	起動音／ハーフシャッター／シャッター／操作音／音量
起動画面	入(画像選択)／切
ファイルNo.	メモリする／メモリしない
ワールドタイム	自宅／訪問先
	ホームタイムの詳細設定(都市名、サマータイムなど)
	ワールドタイムの詳細設定(都市名、サマータイムなど)
表示スタイル	年/月/日／日/月/年／月/日/年
日時設定	日付と時刻の設定
Language	日本語／English／Français／Deutsch／Español／Italiano／Português／中國語／中国语／한국어
スリープ	30秒／1分／2分／切
オートパワーオフ	2分／5分
USB	Mass Storage (USB DIRECT- PRINT)／PTP (PictBridge)
ビデオ出力	NTSC／PAL
フォーマット	フォーマット／キャンセル
リセット	リセット／キャンセル

ランプの状態と動作内容

カメラ本体には緑と赤の【動作確認用ランプ】と【セルフタイマーランプ】の3つのランプがあります。これらのランプは、カメラの動作内容によって、点灯したり点滅したりします。



※ランプの点滅間隔は3種類あります。点滅1では1秒間に1回、点滅2では1秒間に2回、点滅3では1秒間に4回点滅します。

RECモード

動作確認用ランプ		セルフタイマーランプ	内容
緑	赤	赤	
点灯			起動中(電源オン時、撮影可)
	点滅3		フラッシュ充電中
	点灯		フラッシュ充電完了
点灯			オートフォーカス合焦
点滅3			オートフォーカス合焦不可
点灯			LCDオフ
点滅2			撮影記録中
点滅1			ムービー取り込み中／ノイズ低減処理中
		点滅1	セルフタイマーカウンドダウン10〜3秒前
		点滅2	セルフタイマーカウンドダウン3〜0秒前
	点滅1		フラッシュ充電不可
	点滅2		メモリーカード異常／メモリーカード未フォーマット／カスタム登録不可
	点灯		メモリーカードロック／フォルダ作成不可／メモリーフル／書き込みエラー
	点滅3		電池交換警告
点滅3			フォーマット中
点滅3			終了中(電源オフ時)

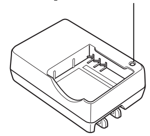
重要! • カメラにメモリーカードを入れているときは、緑の【動作確認用ランプ】が点滅中にメモリーカードを取り出すことは絶対にお止めください。撮影された画像がメモリーカードに記録されずに消えてしまいます。

PLAYモード

動作確認用ランプ		セルフタイマーランプ	内容
緑	赤	赤	
点灯			起動中(電源オン時、撮影可)
点滅3			消去実行中／DPOF実行中／プロテクト実行中／コピー実行中／アルバム作成中／フォーマット中／終了中(電源オフ時)
	点滅2		メモリーカード異常／メモリーカード未フォーマット
	点灯		メモリーカードロック／フォルダ作成不可／メモリーフル
	点滅3		電池交換警告

急速充電器(付属品)

急速充電器には【CHARGEランプ】があり、充電器の動作内容によって、点灯したり、点滅したりします。



CHARGEランプ	内容
赤点灯	充電中
緑点灯	充電完了
赤点滅	充電器または電池の異常
橙点灯	充電待機中(周辺温度が高いまたは低いため)

故障かな？と思ったら

現象と対処方法

	現　象	考えられる原因	対　処
電源について	電源が入らない。	1) 電池が正しい向きに入っていない。 2) 電池が消耗している。	1) 電池を正しい向きに入れてください(→34ページ)。 2) 電池を充電してください(→32ページ)。それでもすぐに電池が消耗するときは電池の寿命です。別売のリチウムイオン充電池(NP-40)をお買い求めください。
	電源が勝手に切れた。	1) オートパワーオフが働いた(→40ページ)。 2) 電池が消耗している。	1) 再度電源を入れ直してください。 2) 電池を充電してください(→32ページ)。
撮影について	【シャッター】を押しても撮影できない。	1) PLAYモードになっている。 2)【フラッシュ】充電中である。 3) "メモリがいっぱいです"と表示されている。	1)【モードダイヤル】をRECモード(→21ページ)に合わせてください。 2)【フラッシュ】の充電が終わるまで待ってください。 3) パソコンに画像を転送後、不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットしてください。
	オートフォーカスなのにピントが合わない。	1)【レンズ】が汚れている。 2)【位相差センサー】が汚れている。 3)【位相差センサー】を指で隠している。 4) 被写体が【フォーカスフレーム】の中央にない。 5) ピントの合いにくい被写体である(→48ページ)。 6) 手ぶれしている。 7) 外部レンズを装着しているのに、オートフォーカス方式(AF方式)を"コントラスト"に設定していない。	1)【レンズ】をきれいにする。 2)【位相差センサー】をきれいにする。 3)【位相差センサー】を指で隠さないで構える。 4) 被写体を【フォーカスフレーム】の中央に合わせる。 5) マニュアルフォーカスモードに切り替えて手動でピントを合わせる(→63ページ)。 6) 三脚を使用してください。 7) オートフォーカス方式(AF方式)を"コントラスト"に設定する(→95ページ)。

	現　象	考えられる原因	対　処
撮影について	撮影した画像の被写体がボケている。	ピントが合っていない。	ピントを合わせたい被写体に【フォーカスフレーム】を合わせて撮影してください。
	フラッシュが発光しない。	1) フラッシュの発光方法が（発光禁止）になっている。 2) 電池が消耗している。 3) ムービーモードになっている。 4) ベストショットモードでフラッシュが（発光禁止）のシーンを選んでいる。	1) フラッシュの発光方法を他の方法に切り替える(→53ページ)。 2) 電池を充電してください。(→32ページ)。 3) 他のモードに変更する。 4) 必要に応じて、フラッシュの発光方法を切り替えるか(→53ページ)撮影したいシーンを選び直す(→84ページ)。
	セルフタイマーでの撮影の途中で電源が切れた。	電池が消耗している。	電池を充電してください(→32ページ)。
	【液晶モニター】に表示される画像のピントがあまい。	1) マニュアルフォーカスモードでピント合わせがずれている。 2) 被写体が風景や人物なのに、" "(マクロモード)になっている。 3) 接写しているのに、オートフォーカスモードや"∞"(無限遠モード)になっている。	1) ピントを合わせる(→63ページ)。 2) 風景や人物を撮影する場合は、オートフォーカスモードにする。 3) 接写撮影をする場合は" "(マクロモード)にする。
	撮影したのに画像が保存されていない。	1) 記録が終了する前に電池切れになった。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜いた。	1) バッテリー残量表示が になったら、速やかに電池を充電してください(→32ページ)。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜かないでください。
	オートブラケティング撮影しているのに、画像に差が出ない。	1) 極端に差の出にくい被写体を撮影している。 2) 極端に露出アンダーまたはオーバーで撮影している。	1) 差の出やすい被写体を写す。 2) 適切な露出に調整してから撮影する。

	現　象	考えられる原因	対　処
再生について	再生した画像の色が撮影時に【液晶モニター】で見た色と違う。	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている。	直接光がレンズに当たらないようにしてください。
	画像が表示されない。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードを使用している。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードは、ファイル管理形式が異なるため再生できません。
その他	すべてのボタンやスイッチが働かない。	他の周辺機器との接続中に静電気や衝撃等により、回路内部に障害が発生した。	電池をいったん取り出し、入れ直してから再度操作してみてください。
	【液晶モニター】がつかない。	1) USB通信中である。 2) RECモードで【液晶モニター】をオフにしている。 3) AV出力している(TV鑑賞中)	1) メモリーカードにパソコンからのアクセスがないことを確認し、USBケーブルを抜いてください。 2)【DISP】を押して【液晶モニター】をオンにしてください。 3) AV出力中は【液晶モニター】の表示はできませんので、AVケーブルを抜いてください。
	パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。	1)USBケーブルが確実に接続されていない。 2) USBドライバがインストールされていない。 3) カメラの電源が入っていない。	1) コネクター端子部を確認して、確実に接続してください。 2) USBドライバをインストールしてください(→155ページ)。 3) カメラの電源を入れてください。

■ USBドライバを正しくインストールできない場合は

Windows98でUSBドライバをインストールしようとしたが、正しくインストールできない場合や、もう一度インストールしようとカメラとパソコンをUSB接続したが、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動しなくなった場合は、次のような原因が考えられます。

● 考えられる原因

1)Windows98を使用しているパソコンで、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)からUSBドライバをインストールする前にUSBケーブルでカメラを接続したことなどにより、別のドライバをインストールしてしまった。

2)正しくUSBドライバがインストールできなかった。

● 対処方法

1)USBドライバをインストールするときに「検索場所の指定」を間違うと、"USBドライバーがインストールできませんでした"と表示されます。このとき「完了」ボタンをクリックすると、「不明なデバイス」やUSBドライバとまったく違うドライバをインストールしてしまいます。そのため、パソコンとカメラをUSB接続しても「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動できなくなる場合があります。インストールができなかったり、途中で中止するときは、「完了」で終わらせないで、必ず「キャンセル」で終わらせてください。

2)パソコンとデジタルカメラをUSB接続しても「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動できない場合は、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してから再インストールしてください。

① パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。
② カメラの電源を入れます。
③ スタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブを選択し、「種類別に表示」を選択して一覧から「不明なデバイス」を探し削除してください。
④ 「不明なデバイス」を削除したらカメラの電源を切り、USBケーブルを抜きます。
⑤ パソコンを再起動し、155ページの操作に従って付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)からUSBドライバを再インストールしてください。

重要! • 詳しい情報につきましては、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)に収録されている「USBドライバ」の「お読みください」をお読みいただくか、カシオホームページ(http://www.casio.co.jp/)をご覧ください。

画面に表示されるメッセージ

圧縮に失敗しました	画像データ記録中に圧縮不可能状態のとき表示されます。撮影し直してください。
アラームを設定しました	アラーム設定時に表示されます。
お気に入りのファイルがありません	お気に入りフォルダにファイルが登録されていないときに表示されます。
カードが異常です	メモリーカードに異常が発生したときに表示されます。電源を切って、メモリーカードを差し直してください。再度電源を入れても同じメッセージが表示されるときは、フォーマットしてください(143ページ)。 重要! • フォーマットを行うとメモリーカード内のすべての内容(ファイル)が消えてしまいます。フォーマットを行う前に、パソコン等を利用してメモリーカード内の正常なファイルを保存してください。
カードがフォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていないときに表示されます。メモリーカードをフォーマットしてください(143ページ)。
カードがロックされています	SDメモリーカードに付いているLOCKスイッチがロックされている状態です。この状態では、記録、消去などファイルを操作することができません。
この機能は使用できません	カメラにメモリーカードを入れない状態で、内蔵メモリーからメモリーカードへファイルをコピーしようとしたときに表示されます(144ページ)。
このファイルではこの機能は使用できません	各種機能を実行しようとしたときに、実行できなかった場合に表示されます。
このファイルは再生できません	ファイルが壊れているか、本機で表示できないファイルを表示しようとしています。
これ以上登録できません	ベストショットモードで「SCENE」フォルダの中に999シーンある状態でカスタム登録しようとした場合に表示されます。または、9999のお気に入りのファイルがすでにある状態で、さらにお気に入りのファイルを登録しようとした場合に表示されます(86ページ)。
設定したファイルが見つかりません	スライドショーの"表示画面"で設定した画像が見つからないときに表示されます。もう一度設定し直してください(118ページ)。
電池容量が無くなりました	電池がなくなったときに表示されます。
電池容量が無くなりました ファイルが保存されませんでした	電池がなくなったため、撮影した画像ファイルが保存されませんでした。
登録可能なファイルがありません	ベストショットモードで登録できるファイルがないときに表示されます。

ファイルがありません	まだ何も記録していない状態、または記録内容をすべて消去して本機にファイルが一つもない状態です。
フォルダが作成できません	999番のフォルダの中に9,999番のファイルが登録されている状態で、撮影しようとしたときに表示されます。撮影を行いたい場合は、不要なファイルを消去する操作を行う必要があります(125ページ)。
プリントする画像がありません DPOF設定してください	プリントする画像が指定されていないときに表示されます。DPOFの設定を行ってください(147ページ)。
プリントエラー	プリント中のエラー時に表示されます。 • プリンタ電源オフ • 用紙未セット • インク切れ • プリンタ本体のエラーなど
メモリがいっぱいです	撮影可能枚数を使い切りました。撮影を行いたい場合は、不要なファイルを消去する操作を行う必要があります(125ページ)。
LENS ERROR	レンズが動いているときにレンズに障害物が当たると、このメッセージが表示され、電源が切れます。障害物がないことを確認して、再度電源を入れてください。
SYSTEM ERROR	カメラのシステムが壊れていますので、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

主な仕様/別売品

主な仕様

品　名 .... デジタルカメラ
機種名 EX-P600

■カメラ機能

記録画像ファイル

フォーマット............. 静止画：JPEG(Exif Ver.2.2)、DCF (Design rule for Camera File system) 1.0準拠、DPOF対応
動画　：AVI (Motion JPEG)
音声　：WAV

記録媒体 内蔵フラッシュメモリー9.2MB
SDメモリーカード(SD Memory Card)
マルチメディアカード(MultiMediaCard)

記録画素数 .... 静止画：2816×2112pixels
2816×1872(3:2)pixels
2048×1536pixels
1600×1200pixels
1280× 960pixels
640× 480pixels

画像記録枚数/ファイルサイズ(可変長)

• 静止画

画像サイズ (pixels)	画像	画像ファイルサイズ	内蔵フラッシュメモリー9.2MB	SDメモリーカード* 64MB
2816×2112	高精細	約3.0MB	約2枚	約19枚
	標　準	約2.4MB	約3枚	約24枚
	エコノミー	約1.6MB	約5枚	約36枚
	TIFF	約17.0MB	約0枚	約3枚
2816×1872 (3：2)	高精細	約2.7MB	約3枚	約22枚
	標　準	約2.1MB	約4枚	約28枚
	エコノミー	約1.4MB	約6枚	約41枚
	TIFF	約15.1MB	約0枚	約3枚
2048×1536	高精細	約1.64MB	約5枚	約34枚
	標　準	約1.23MB	約6枚	約45枚
	エコノミー	約630KB	約13枚	約88枚
	TIFF	約9.0MB	約0枚	約5枚
1600×1200 (UXGA)	高精細	約1.05MB	約7枚	約53枚
	標　準	約710KB	約11枚	約79枚
	エコノミー	約370KB	約23枚	約154枚
	TIFF	約5.5MB	約1枚	約9枚
1280×960 (SXGA)	高精細	約680KB	約12枚	約82枚
	標　準	約460KB	約18枚	約126枚
	エコノミー	約250KB	約33枚	約221枚
	TIFF	約3.5MB	約2枚	約14枚
640×480 (VGA)	高精細	約190KB	約44枚	約294枚
	標　準	約140KB	約57枚	約386枚
	エコノミー	約90KB	約92枚	約618枚
	TIFF	約900KB	約8枚	約55枚

• 動画(320×240pixels)

記録容量	最大約300KB/秒
撮影時間	撮影可能なトータル時間： 最長約30秒(内蔵メモリーの場合) 最長約3分20秒(SDメモリーカード*64MBの場合)

※ 記録枚数は、撮影できる枚数の目安です。
※ 松下電器産業(株)製の場合です。撮影枚数はメーカーによって異なります。
※ 容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。

消去 .... 1ファイル単位、全ファイル一括消去可能(メモリープロテクト機能付き)

有効画素数 600万画素

撮像素子 .... 1/1.8型正方画素原色CCD(総画素数：637万画素)

レンズ/焦点距離...... F2.8-4/f=7.1～28.4mm(35mmフィルム換算33～132mm相当)

ズーム .... 光学ズーム4倍/デジタルズーム4倍(光学ズーム併用16倍)

焦点調節 .... 位相差センサー方式/コントラスト方式併用オートフォーカス(スポット、マルチ、フリー切換可能)、マクロモード、無限遠モード、マニュアルフォーカスモード、フォーカスロック可能

撮影可能距離
(レンズ表面より)...... 標準：約40cm～∞

接写 .... 約10cm～50cm(ワイド端)
約40cm～50cm(テレ端)

露出制御 .... 測光方式：撮像素子によるマルチパターン測光
制御方式：プログラムAE、絞り優先AE、シャッター速度優先AE、マニュアル露出
露出補正：−2EV～+2EV(1/3EV単位)

シャッター .... CCD電子シャッター/メカシャッター併用
静止画モード、絞り優先AEモード、ベストショット：1/8～1/2000秒
シャッター速度優先AEモード、マニュアル露出モード：BULB、60～1/2000秒
※ベストショットモードの一部では異なります。
夜景を写します：4～1/2000秒
花火を写します：BULB、60～1/2000秒

絞り F2.8/3.2/3.5/4.0/4.5/5.0/5.6/6.3/7.1/8.0
※ 光学ズームにすると、絞り値は変化します。
※ 静止画モードでは、絞れるのはF2.8からF5.6までです。

ホワイトバランス...... 自動/固定(7モード)/マニュアル

セルフタイマー.......... 作動時間約10秒、2秒、トリプルセルフタイマー、リモコン、リモコンセルフタイマー2秒

内蔵フラッシュ .... 発光モード：自動発光、発光禁止、強制発光、赤目軽減機能切替可能
フラッシュ撮影範囲(ISO感度オート時)：
広角時　約0.2m～約2.9m
望遠時　約0.4m～約2.0m

撮影/録音関連機能.. 静止画撮影(音声付き)、マクロ撮影、セルフタイマー撮影、絞り優先AE撮影、シャッター速度優先AE撮影、マニュアル露出撮影、ベストショット撮影、連写、オートブラケティング撮影、ムービー撮影(音声付き)、音声録音(ボイスレコード)
※ 音声はモノラルです。

音声記録時間............. 音声付き静止画撮影：1画像につき最長約30秒間
ボイスレコード：約40分(内蔵メモリーの場合)
アフターレコーディング：1画像につき最長約30秒間

モニター .... 2.0型TFTカラー液晶 115,200(480×240)画素

ファインダー............. 液晶モニター/光学式ファインダー

時計機能 .... クォーツデジタル時計内蔵
日付・時刻：画像データと同時に記録
自動カレンダー：2049年まで

ワールドタイム......... 世界162都市(32タイムゾーン)に対応
都市名、日付、時刻、サマータイム

入出力端子 .... 外部電源端子(DC IN)、USB/AV接続端子(NTSC/PAL標準方式準拠)、外部フラッシュシンクロ端子

マイク .... モノラル

スピーカー .... モノラル

■電源部、その他

電源 .... リチウムイオン充電池(NP-40)×1個/ACアダプター(AD-C40)

電池寿命

電池寿命は、温度23℃で使用した場合(36ページ)の電源が切れるまでの目安であり、保証時間、または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

撮影枚数(CIPA)(動作時間)※1	約260枚(約2時間10分)
連続撮影枚数(動作時間)※2	約600枚(約2時間30分)
連続再生時間(静止画)※3	約5時間
ボイスレコード録音時間※4	約4時間20分

• 使用電池：NP-40(定格容量：1230mAh)
• 記録メディア：SDメモリーカード

- 測定条件
  - ※1 撮影枚数(CIPA)
    CIPA規準に準ずる
    温度(23℃)、液晶モニターオン、30秒毎にズームのワイド端とテレ端で交互に撮影、フラッシュ発光(2枚に1回)、10回撮影に1度電源を切/入操作
  - ※2 連続撮影枚数
    温度(23℃)、液晶モニターオン、フラッシュ非点灯、約15秒に1枚撮影
  - ※3 連続再生
    温度(23℃)、約10秒に1枚ページ送り
  - ※4 ボイスレコード録音時間は、連続で録音したときの時間です。

消費電力 .... DC 4.5V 約5.5W

外形寸法 .... 幅97.5mm×高さ67.5mm×奥行き45.1mm(突起部除く、最薄部26.1mm)

質量 .... 約225g(電池、付属品除く)

付属品 .... リチウムイオン充電池(NP-40)、急速充電器(BC-30L)、カードリモコン、リチウム電池(CR2025)、USBケーブル、AVケーブル、ストラップ、CD-ROM、取扱説明書(保証書付き)

■リチウムイオン充電池(NP-40)

定格電圧 3.7V

定格容量 1230mAh

使用周囲温度 .... 0〜40℃

外形寸法 .... 幅38.5mm×高さ38.0mm×奥行き9.3mm

質量 約34g

■急速充電器(BC-30L)

入力電源 AC100-240V 0.13A 50/60Hz

出力 DC4.2V 900mA

使用温度範囲 .... 5〜35℃

適合電池 .... リチウム充電池(NP-40)

充電時間 約2時間

外形寸法 .... 幅80mm×高さ55mm×奥行き25mm(突起部含まず)

質量 約63g

電源について

- 電池は、必ず専用リチウムイオン充電池NP-40をお使いください。他の電池は使用できません。
- 本機には時計専用の電池は入っておりません。電池や別売のACアダプターで電源が供給されていないと、約2日で日時がリセットされますので、その場合は再度設定してください(43ページ)。

液晶パネルについて

- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%未満の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

レンズの特性について

- レンズの特性(歪曲収差)により、撮影した画像の直線が歪む(曲がる)場合がありますが、故障ではありません。

別売品

• ACアダプター	AD-C40
• 急速充電器	BC-30L
• リチウムイオン充電池	NP-40
• EXILIM PROオリジナル本革ケース	ESC-60
• EXILIM PROオリジナルセミハードケース	ESC-61
• コンバージョンレンズアダプター※	LU-60A

※本製品はテレコンバーターアダプターとワイドコンバーターアダプターのセットです。

別売品は、お買い求めの販売店もしくは、カシオ・オンラインショッピングサイト(e-カシオ)にご用命ください。

e-カシオ：http://www.e-casio.co.jp/

カシオデジタルカメラに関する情報は、カシオホームページでもご覧になることができます。

http://www.casio.co.jp/

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

ら

わ

ExilimオフィシャルWebサイトのお知らせ

当サイトは、Exilimのオフィシャル情報発信サイトです。

http://www.exilim.jp/

■ユーザー登録の仕方

ユーザー登録はExilimサイト(http://www.exilim.jp/)の【Registration】からご利用のデジタルカメラを選択して登録を行ってください。

ご登録いただいた方への特典

Download	Exilim News
最新ファームウェア・バージョンアップ・ソフトウェアがダウンロードできます。	会員向情報メールにより[www.exilim.jp]の更新情報、製品関連の最新情報、特典情報等を配信します。
Exilim Collection	**Exilim BBS**
登録された会員様だけにExilim起動画面ファイルなどを配信します。	開発フォーラムで「製品開発」に関する意見を交換することができます。

一般公開のサービス内容

Exilim Avenue

Faces	Sense
こだわりとスタイルを持った人々がExilimの魅力を語ります。	Exilimを格好良く身に付けるポイントをレポートします。
Story	**Wallpaper**
Exilim開発スタッフが語る秘話を紹介します。	パソコン用壁紙がダウンロード可能です。
Edge of the World	**Collection**
ニューヨーク、ロンドン、上海など国際都市からExilimを通してレポートします。	TVCMのMP3ファイル等を公開します。

その他のExilim関連WEB情報

Exilim Info	Exilim Support
製品情報／サンプル画像	各種FAQや動作確認情報

＊ Exilim.jpのサービス内容は会員の意見・要望や公開アンケートの結果により変更される場合があります。あらかじめご了承ください。